

作成日 2023年05月18日  
改訂日

## 安全データシート

### 1. 化学品及び会社情報

化学品の名称	ウィードコア200SD粒剤
整理番号	3057-01
供給者の会社名称	北興化学工業株式会社
住所	〒103-8341 東京都中央区日本橋本町一丁目5番4号
担当部門	企画部 環境安全チーム
電話番号	03-3279-5151
FAX番号	03-3279-5195
緊急連絡電話番号	03-3279-5151
推奨用途	農薬(除草剤)
使用上の制限	推奨用途以外の使用はしないこと

### 2. 危険有害性の要約 ~ 16. その他の情報

別添「コルテバ・ジャパン株式会社 ウィードコア200SD粒剤 安全データシート(改訂日: 2023年04月10日)」を参照のこと。

## ウィードコア™ 200SD 粒剤

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日: 2023/02/24
1.1	2023/04/10	800080101120	初回作成日: 2023/02/24

Corteva Agriscience™ は、この製品の使用者が、重要な情報を記載しているこの(M)SDSを熟読され、ご理解されるようお願いしております。このSDSは、職場における人の健康および安全性の保護、環境保護、緊急時の対応を支援する情報を製品の使用者に提供します。製品を使用される際は、主に製品容器に添付されている製品ラベルを参照する必要があります。このSDSは、日本の法規制及び JIS Z 7253 に準拠して作成されたものであり、日本以外の国の規制を満たすものではありません。

## 1. 化学品及び会社情報

化学品の名称 : ウィードコア™ 200SD 粒剤

## 供給者の会社名称、住所及び電話番号

## 会社情報

## 製造業者/輸入業者

コルテバ・ジャパン株式会社  
100-6110 東京都千代田区永田町 2-11-1

会社電話番号 : 03-3519-3190  
電子メールアドレス : SDS@corteva.com

緊急連絡電話番号 : 0800-170-5827

## 推奨用途及び使用上の制限

推奨用途 : 農薬 (除草剤)

## 2. 危険有害性の要約

## 化学品の GHS 分類

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 : 区分 1

生殖細胞変異原性 : 区分 2

発がん性 : 区分 1A

生殖毒性 : 区分 2

特定標的臓器毒性 (反復ばく露) : 区分 1 (呼吸器系, 免疫系, 腎臓)

水生環境有害性 短期 (急性) : 区分 3

## ウィードコア™ 200SD 粒剤

版番号 改訂日: 整理番号: 前回改訂日: 2023/02/24  
1.1 2023/04/10 800080101120 初回作成日: 2023/02/24

---

水生環境有害性 長期（慢性） : 区分 1

## GHS ラベル要素

絵表示又はシンボル :



注意喚起語 : 危険

危険有害性情報 : H318 重篤な眼の損傷。  
H341 遺伝性疾患のおそれの疑い。  
H350 発がんのおそれ。  
H361 生殖能又は胎児への悪影響のおそれの疑い。  
H372 長期にわたる、又は反復暴露による臓器（呼吸器系、免疫系、腎臓）の障害。  
H402 水生生物に有害。  
H410 長期継続的影響によって水生生物に非常に強い毒性。

注意書き :

**安全対策:**

P201 使用前に取扱説明書を入手すること。  
P202 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。  
P260 粉じんを吸入しないこと。  
P264 取扱い後は皮膚をよく洗うこと。  
P270 この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。  
P273 環境への放出を避けること。  
P280 保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。

**応急措置:**

P305 + P351 + P338 + P310 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。直ちに医師に連絡すること。  
P308 + P313 ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師の診察／手当てを受けること。  
P391 漏出物を回収すること。

**保管:**

P405 施錠して保管すること。

**廃棄:**

P501 内容物／容器を承認された処理施設に廃棄すること。

## ウィードコア™ 200SD 粒剤

版番号 改訂日: 整理番号: 前回改訂日: 2023/02/24  
1.1 2023/04/10 800080101120 初回作成日: 2023/02/24

GHS 分類に該当しない他の危険有害性

知見なし。

## 3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 : 混合物

## 成分

化学名	CAS 番号	含有量 (% w/w)	化審法 (ENCS) / 安衛法 (ISHL) 番号
ペノキススラム	219714-96-2	2.5	8-(2)-2564
ベンジル=4-アミノ-3-クロロ-6-(4-クロロ-2-フルオロ-3-メトキシフェニル)-5-フルオロピリジン-2-カルボキシラート (フロルピラウキシフェンベンジル)	1390661-72-9	2	8-(1)-4461
ベンゾピシクロン	156963-66-5	10	7-(2)-168
石英 (結晶)	14808-60-7	>= 27 - < 32	1-548

## 4. 応急措置

- 吸入した場合 : 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
- 皮膚に付着した場合 : 石鹸と大量の水で洗って、物質を直ちに皮膚から取り除く。洗っている間に汚染された衣類や靴は脱がせる。刺激がおさまらない時は医師の診察を受ける。衣類は再使用前に洗濯する。
- 眼に入った場合 : 数分間目を徹底的に水で洗い流す。1~2分洗眼してからコンタクトレンズをはずし、さらに数分洗い続ける。症状があれば、医師の診察を受ける。眼科医が望ましい。
- 飲み込んだ場合 : 口を水ですすぐ。  
緊急な医療処置が必要。  
無理に吐かせないこと。
- 急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状 : 知見なし。
- 医師に対する特別な注意事項 : 症状に応じた治療を行う。

## 5. 火災時の措置

- 適切な消火剤 : 粉末消火剤  
泡  
二酸化炭素 (CO2)  
水噴霧

## ウィードコア™ 200SD 粒剤

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日: 2023/02/24
1.1	2023/04/10	800080101120	初回作成日: 2023/02/24

- 
- |                         |  |
|-------------------------|--|
| 使ってはならない消火剤<br>特有の危険有害性 | : 知見なし。<br>: 燃焼生成物にさらされると、健康に危害を及ぼす可能性がある。   |
| 有害燃焼副産物                 | : 火災時の煙には、元の物質に加えて、毒性や刺激性があるかもしれない様々な燃焼生成物が含まれていることがある。<br>燃焼生成物は以下のものを含むことがあり、またこれだけとは限らない:<br>窒素酸化物 (NO <sub>x</sub> )<br>炭素酸化物<br>硫黄酸化物 |
| 特有の消火方法                 | : 現場の状況と周辺環境に応じて適切な消火手段を用いる。<br>安全であれば未損傷コンテナを火災領域から離す。<br>区域から退避させること。<br>未開封の容器を冷却するために水を噴霧する。   |
| 消火を行う者の保護               | : 消火活動時には必要に応じて 自給式呼吸装置を装着する。<br>保護具を使用する。   |

---

## 6. 漏出時の措置

- |                           |   |
|---------------------------|---|
| 人体に対する注意事項、保護<br>具及び緊急時措置 | : 粉じんの発生を避ける。<br>適切な安全設備を用いること。追加情報として、第8項、暴露防止及び保護措置を参照。   |
| 環境に対する注意事項                | : 環境への放出は必ず避けなければならない。<br>安全を確認してから、もれやこぼれを止める。<br>汚染された洗浄水を保管し、処分する。<br>流出が著しく回収できない場合は、地方自治体に通報する。  |
| 封じ込め及び浄化の方法及び<br>機材       | : 本物質、ならびに放出物の清掃に使用した資材および品目の<br>放出および処分については、地方または国の規制が適用される<br>場合がある。<br>粉じんを発生させないように留意して回収し、廃棄する。<br>回収物質は、ベント付き容器に保管すること。漏洩物質 が更<br>に反応し、容器内が加圧状態になることがあるので、通気孔<br>から水が侵入しないようにすること。<br>掃いてシャベルですくいとる。<br>廃棄に備え適切な容器に入れて蓋をしておく。<br>こぼれたものは、掃きとるか掃除機で吸い取り、適切な容器<br>に移し、廃棄する。<br>追加情報として、項目 13 の廃棄上の注意を参照。 |

---

## 7. 取扱い及び保管上の注意

### 取扱い

## ウィードコア™ 200SD 粒剤

版番号 改訂日: 整理番号: 前回改訂日: 2023/02/24  
1.1 2023/04/10 800080101120 初回作成日: 2023/02/24

- 安全取扱注意事項 : 十分な衛生的作業を行い安全規定に従って取扱う。  
作業エリアでは、喫煙、飲食は禁止する。  
漏れや廃棄物を防止し、環境への放出を最小限にするよう注意する。  
適切な安全設備を用いること。追加情報として、第8項、暴露防止及び保護措置を参照。
- 接触回避 : なし。
- 保管**
- 安全な保管条件 : 密閉容器に保管すること。  
適切なラベルのついた容器に入れておく。  
各国の規定に従って保管する。
- 混触禁止物質 : 強酸化剤
- 安全な容器包装材料 : 適さない材質: 知見なし。

## 8. ばく露防止及び保護措置

## 作業環境における成分別暴露限界/許容濃度

成分	CAS 番号	指標 (暴露形態)	管理濃度 / 基準濃度 / 許容濃度	出典
石英 (結晶)	14808-60-7	OEL-C (吸入性粉じん)	0.03 mg/m <sup>3</sup> (シリカ)	日本産業衛生学会 (許容濃度)
	詳細情報: 発がん物質, 「第1群」はヒトに対して発がん性があると判断できる物質である。この群に分類される物質は, 疫学研究からの十分な証拠がある。			
		TWA (呼吸濃度)	0.025 mg/m <sup>3</sup> (シリカ)	ACGIH

- 設備対策 : 局所排気装置および/または全体換気装置を使用する。

**保護具**

- 呼吸用保護具 : 効果的な防塵マスク
- 手の保護具
- 備考 : 保護手袋
- 眼の保護具 : 保護眼鏡または耐薬品性のすっぽり覆うスプラッシュゴーグルを着用する。
- 皮膚及び身体の保護具 : 保護衣および手袋 (ゴーグルまたは顔面シールド、長袖・長ズボンの上に着用するカバーオール、靴下、耐薬品の履物および防水手袋) を着用する。

## 9. 物理的及び化学的性質

- 物理状態 : 細粒
- 色 : 類白色

## ウィードコア™ 200SD 粒剤

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日: 2023/02/24
1.1	2023/04/10	800080101120	初回作成日: 2023/02/24

---

臭い	: データなし
沸点, 初留点及び沸騰範囲	: データなし
可燃性 (固体、気体)	: データなし
pH	: 9.5 1% 水溶液
蒸気圧	: データなし
密度及び/又は相対密度 比重	: 0.47
粒子特性 粒子サイズ	: 300 - 1,700 $\mu\text{m}$

---

## 10. 安定性及び反応性

反応性	: 反応性危険としては分類されない。
化学的安定性	: 指示通りに保管または使用した場合は、分解することはない。 通常の状態では安定。
危険有害反応可能性	: 推奨保管条件下では安定。 特に言及すべき危害要因はない。
避けるべき条件	: 知見なし。
混触危険物質	: なし。
危険有害な分解生成物	: 分解生成物は温度、空気の供給および他の物質の存在による。 分解生成物は以下のものを含むことがあり、またこれだけとは限らない: 窒素酸化物 (NO <sub>x</sub> ) 炭素酸化物 硫黄酸化物 塩化水素ガス

---

## 11. 有害性情報

## 急性毒性

製品:

急性毒性 (経口)	: LD50 (ラット, メス): > 2,000 mg/kg
-----------	---------------------------------

## ウィードコア™ 200SD 粒剤

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日: 2023/02/24
1.1	2023/04/10	800080101120	初回作成日: 2023/02/24

**成分:****ペノキススラム:**

急性毒性 (経口) : LD50 (ラット, オスおよびメス): > 5,000 mg/kg  
GLP: 該当

LD50 (マウス, メス): > 5,000 mg/kg

急性毒性 (吸入) : LC50 (ラット, オスおよびメス): > 3.50 mg/l  
曝露時間: 4 h  
試験環境: 粉じん/ミスト  
症状: この濃度では死に至らない。  
GLP: 該当  
アセスメント: この物質または混合物は急性の吸入毒性は無い。  
備考: 到達可能な最高濃度。

急性毒性 (経皮) : LD50 (ウサギ, オスおよびメス): > 5,000 mg/kg  
GLP: 該当

**ベンジル=4-アミノ-3-クロロ-6- (4-クロロ-2-フルオロ-3-メトキシフェニル) -5-フルオロピリジン-2-カルボキシラート (フロルピラウキシフェンベンジル):**

急性毒性 (経口) : LD50 (ラット, メス): > 5,000 mg/kg

急性毒性 (吸入) : LC50 (ラット, オスおよびメス): > 5.23 mg/l  
曝露時間: 4 h  
試験環境: 粉じん/ミスト  
症状: この濃度では死に至らない。  
アセスメント: この物質または混合物は急性の吸入毒性は無い。

急性毒性 (経皮) : LD50 (ラット, オスおよびメス): > 5,000 mg/kg

**皮膚腐食性/刺激性****製品:**

種 : ウサギ  
結果 : 皮膚刺激なし

**成分:****ベンジル=4-アミノ-3-クロロ-6- (4-クロロ-2-フルオロ-3-メトキシフェニル) -5-フルオロピリジン-2-カルボキシラート (フロルピラウキシフェンベンジル):**

種 : ウサギ  
結果 : 皮膚刺激なし



## ウィードコア™ 200SD 粒剤

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日: 2023/02/24
1.1	2023/04/10	800080101120	初回作成日: 2023/02/24

---

**石英（結晶）:**

結果 : 皮膚刺激なし

**眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性****製品:**種 : ウサギ  
結果 : 腐食性**成分:**

ベンジル=4-アミノ-3-クロロ-6- (4-クロロ-2-フルオロ-3-メトキシフェニル) -5-フルオロピリジン-2-カルボキシラート (フルルピラウキシフェンベンジル):

種 : ウサギ  
結果 : 眼への刺激なし**石英（結晶）:**

結果 : 眼への刺激なし

**呼吸器感作性又は皮膚感作性****製品:**種 : モルモット  
アセスメント : 皮膚感作性なし。**成分:****ペノキススラム:**種 : モルモット  
結果 : 皮膚感作性なし。

ベンジル=4-アミノ-3-クロロ-6- (4-クロロ-2-フルオロ-3-メトキシフェニル) -5-フルオロピリジン-2-カルボキシラート (フルルピラウキシフェンベンジル):

試験タイプ : 局所リンパ節増殖試験 (LLNA)  
種 : マウス  
結果 : 製品は皮膚過敏化性である、細区分 1B。**生殖細胞変異原性****製品:**

生殖細胞変異原性 - アセスメント : 区分 2 の成分を 1%以上含有する。

In vitro 試験で、突然変異誘発性が示された

## ウィードコア™ 200SD 粒剤

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日: 2023/02/24
1.1	2023/04/10	800080101120	初回作成日: 2023/02/24

---

**成分:****ペノキススラム:**

生殖細胞変異原性 - アセスメント : In vitro での遺伝毒性試験は陰性であった。、以下の情報は、限られたデータもしくはスクリーニング調査による。、動物遺伝毒性試験は陰性だった。

ベンジル=4-アミノ-3-クロロ-6- (4-クロロ-2-フルオロ-3-メトキシフェニル) -5-フルオロピリジン-2-カルボキシラート (フロルピラウキシフェンベンジル):

生殖細胞変異原性 - アセスメント : In vitro での遺伝毒性試験は陰性であった。  
ント

動物遺伝毒性試験は陰性だった。

**石英 (結晶):**

生殖細胞変異原性 - アセスメント : In vitro 遺伝毒性試験では、陰性結果もあったが陽性結果もあった。  
ント

**発がん性****成分:****ペノキススラム:**

発がん性 - アセスメント : 動物試験では発がん性はなかった。

ベンジル=4-アミノ-3-クロロ-6- (4-クロロ-2-フルオロ-3-メトキシフェニル) -5-フルオロピリジン-2-カルボキシラート (フロルピラウキシフェンベンジル):

発がん性 - アセスメント : 動物試験では発がん性はなかった。

**石英 (結晶):**

発がん性 - アセスメント : 人間の発癌性物質。

ヒトで発がん性を示した。、実験動物で発がん性が認められた。

**生殖毒性****製品:**

生殖毒性 - アセスメント : 人に対する生殖毒性が疑われる物質

**成分:****ペノキススラム:**

生殖毒性 - アセスメント : 動物試験では、生殖を阻害しなかった。

母体に毒性影響を起こした摂取量でも、催奇形性や他の胎児

## ウィードコア™ 200SD 粒剤

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日: 2023/02/24
1.1	2023/04/10	800080101120	初回作成日: 2023/02/24

---

への影響はなかった。

ベンジル=4-アミノ-3-クロロ-6- (4-クロロ-2-フルオロ-3-メトキシフェニル) -5-フルオロピリジン-2-カルボキシラート(フロルピラウキシフェンベンジル):

生殖毒性 - アセスメント : 動物試験では、生殖を阻害しなかった。  
動物試験で、催奇形性や他の胎児への影響はなかった。

石英 (結晶) :

生殖毒性 - アセスメント : 類似物質について、動物試験で、催奇形性や他の胎児への影響はなかった。

特定標的臓器毒性 (単回ばく露)

成分:

ベンジル=4-アミノ-3-クロロ-6- (4-クロロ-2-フルオロ-3-メトキシフェニル) -5-フルオロピリジン-2-カルボキシラート(フロルピラウキシフェンベンジル):

アセスメント : 使用可能なデータの評価によれば、この物質は特定標的臓器毒性 (単回ばく露) を示さない。

石英 (結晶) :

アセスメント : この物質または混合物は特定標的臓器毒性物質 (単回ばく露) としては区分に該当しない。

特定標的臓器毒性 (反復ばく露)

製品:

標的臓器 : 呼吸器系, 免疫系, 腎臓  
アセスメント : 長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害。

成分:

石英 (結晶) :

アセスメント : この物質または混合物は特定標的臓器毒性物質 (反復ばく露) としては未分類。

反復投与毒性

成分:

ペノキススラム:

備考 : 動物では、以下の臓器に影響することが報告されている :  
腎臓。  
肝臓。

## ウィードコア™ 200SD 粒剤

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日: 2023/02/24
1.1	2023/04/10	800080101120	初回作成日: 2023/02/24

---

ベンジル=4-アミノ-3-クロロ-6- (4-クロロ-2-フルオロ-3-メトキシフェニル) -5-フルオロピリジン-2-カルボキシラート(フルルピラウキシフェンベンジル):

備考 : 入手可能なデータによると、繰り返し暴露で、顕著な有害影響は予期されない。

石英 (結晶) :

備考 : ヒトでは、以下の臓器に影響することが報告されている :  
腎臓。  
結晶シリカに反復過剰暴露すると珪肺症や、肺の病気を進行させたり肺が機能しなくなる疾患を起こすことがある。

誤えん有害性

成分:

ペノキススラム:

物性上、誤えん有害性は低い。

ベンジル=4-アミノ-3-クロロ-6- (4-クロロ-2-フルオロ-3-メトキシフェニル) -5-フルオロピリジン-2-カルボキシラート(フルルピラウキシフェンベンジル):

物性上、誤えん有害性は低い。

石英 (結晶) :

物性上、誤えん有害性は低い。

---

## 12. 環境影響情報

生態毒性

製品:

魚毒性 : LC50 (Cyprinus carpio (コイ)): > 1,000 mg/l  
曝露時間: 96 h

ミジンコ等の水生無脊椎動物 : EC50 (Daphnia magna (オオミジンコ)): 586 mg/l  
に対する毒性 曝露時間: 48 h

藻類/水生生物に対する毒性 : ErC50 (緑藻): 71.3 mg/l  
曝露時間: 72 h

成分:

ペノキススラム:

## ウィードコア™ 200SD 粒剤

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日: 2023/02/24
1.1	2023/04/10	800080101120	初回作成日: 2023/02/24

---

- 魚毒性 : LC50 (*Oncorhynchus mykiss* (ニジマス)): > 100 mg/l  
曝露時間: 96 h  
試験タイプ: 止水式試験  
方法: OECD 試験ガイドライン 203
- ミジンコ等の水生無脊椎動物 : EC50 (*Daphnia magna* (オオミジンコ)): > 100 mg/l  
に対する毒性  
曝露時間: 48 h  
試験タイプ: 止水式試験  
方法: OECD 試験ガイドライン 202
- 藻類/水生生物に対する毒性 : ErC50 (*Pseudokirchneriella subcapitata* (緑藻)): 0.126 mg/l  
エンドポイント: 生長率阻害  
曝露時間: 72 h  
試験タイプ: 止水式試験  
方法: OECD 試験ガイドライン 201
- EbC50 (*Lemna minor* (コウキクサ)): 0.00329 mg/l  
エンドポイント: バイオマス  
曝露時間: 14 d  
方法: OECD 221
- M-ファクター (水生環境有害性 短期 (急性)) : 100
- M-ファクター (水生環境有害性 長期 (慢性)) : 100
- 微生物に対する毒性 : EC50 (活性汚泥): > 1,000 mg/l  
曝露時間: 3 h
- 土中生物に対する毒性 : LC50 (*Eisenia fetida* (ミミズ)): > 1,000 mg/kg  
曝露時間: 14 d  
GLP: 該当
- 最大無影響濃度 (*Eisenia fetida* (ミミズ)): 1,000 mg/kg  
曝露時間: 56 d
- 地上生物に対する毒性 : 経口 LD50 (*Anas platyrhynchos* (マガモ)): > 2000 mg/kg 体重  
エンドポイント: 死亡率
- 混餌 LC50 (*Colinus virginianus* (コリンウズラ)): > 5063 mg/kg 餌  
曝露時間: 8 d  
エンドポイント: 死亡率  
GLP: 該当
- 接触 LD50 (*Apis mellifera* (ミツバチ)): > 100 µg/bee  
曝露時間: 48 h

## ウィードコア™ 200SD 粒剤

版番号 改訂日: 整理番号: 前回改訂日: 2023/02/24  
1.1 2023/04/10 800080101120 初回作成日: 2023/02/24

---

エンドポイント: 死亡率  
GLP: 該当

経口 LD50 (Apis mellifera (ミツバチ)): > 100 µg/bee  
曝露時間: 48 h  
エンドポイント: 死亡率  
GLP: 該当

## 環境毒性アセスメント

水生環境有害性 短期 (急性) : 水生生物に非常に強い毒性。

水生環境有害性 長期 (慢性) : 長期継続的影響によって水生生物に非常に強い毒性。

ベンジル=4-アミノ-3-クロロ-6-(4-クロロ-2-フルオロ-3-メトキシフェニル)-5-フルオロピリジン-2-カルボキシラート(フロルピラウキシフェンベンジル):

魚毒性 : LC50 (Oncorhynchus mykiss (ニジマス)): > 0.0490 mg/l  
曝露時間: 96 h  
備考: LC50 値は、水に対する溶解度を超えている。

ミジンコ等の水生無脊椎動物に対する毒性 : EC50 (Daphnia magna (オオミジンコ)): > 0.0623 mg/l  
曝露時間: 48 h

藻類/水生生物に対する毒性 : ErC50 (Pseudokirchneriella subcapitata (緑藻)): > 0.0424 mg/l  
エンドポイント: 生長率阻害  
曝露時間: 72 h

ErC50 (Myriophyllum spicatum): 0.000154 mg/l  
曝露時間: 14 d

最大無影響濃度 (Myriophyllum spicatum): 0.0000095 mg/l  
曝露時間: 14 d

M-ファクター (水生環境有害性 短期 (急性)) : 1,000

魚毒性 (慢性毒性) : 最大無影響濃度 (Pimephales promelas (ファットヘッドミノウ)): 0.0370 mg/l  
曝露時間: 33 d  
試験タイプ: 止水式試験

ミジンコ等の水生無脊椎動物に対する毒性 (慢性毒性) : 最大無影響濃度 (Daphnia magna (オオミジンコ)): 0.0378 mg/l  
曝露時間: 21 d

M-ファクター (水生環境有害性 長期 (慢性)) : 10,000

## ウィードコア™ 200SD 粒剤

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日: 2023/02/24
1.1	2023/04/10	800080101120	初回作成日: 2023/02/24

- 微生物に対する毒性 : EC50 (活性汚泥): > 1,000 mg/l  
曝露時間: 3 h  
方法: OECD 試験ガイドライン 209
- 土中生物に対する毒性 : LC50 (*Eisenia fetida* (ミミズ)): > 2,000 mg/kg  
曝露時間: 14 d
- 地上生物に対する毒性 : 経口 LD50 (*Colinus virginianus* (コリンウズラ)): > 2250 mg/kg 体重  
エンドポイント: 死亡率
- 混餌 LC50 (*Anas platyrhynchos* (マガモ)): > 5620 mg/kg 餌
- 経口 LD50 (*Apis mellifera* (ミツバチ)): > 105.4 µg/bee  
曝露時間: 48 h  
エンドポイント: 死亡率
- 接触 LD50 (*Apis mellifera* (ミツバチ)): > 100 µg/bee  
曝露時間: 48 h  
エンドポイント: 死亡率

## 環境毒性アセスメント

- 水生環境有害性 短期 (急性) : 水生生物に非常に強い毒性。
- 水生環境有害性 長期 (慢性) : 長期継続的影響によって水生生物に非常に強い毒性。

## 石英 (結晶) :

- 魚毒性 : 備考: 水生生物に対する急性毒性はないと考えられる。

## 環境毒性アセスメント

- 水生環境有害性 短期 (急性) : 本製品には既知の生体毒性は無い。

## 残留性・分解性

## 成分:

## ペノキススラム:

- 生分解性 : 結果: 分解性なし  
備考: 物質は難分解性であると考えられる (環境中)。生分解性に関する OECD/EEC 試験では易分解性にならなかった。
- 生分解: 14.7 %  
曝露時間: 28 d  
方法: OECD テストガイドライン 301B あるいは同等のもの  
備考: 10-day Window: 不合格

## ウィードコア™ 200SD 粒剤

版番号 改訂日: 整理番号: 前回改訂日: 2023/02/24  
1.1 2023/04/10 800080101120 初回作成日: 2023/02/24

---

光分解性 : 感作性: 0H ラジカル  
速度定数: 6.03E-11 cm<sup>3</sup>/s  
方法: 推定値。

ベンジル=4-アミノ-3-クロロ-6- (4-クロロ-2-フルオロ-3-メトキシフェニル) -5-フルオロピリジン-2-カルボキシラート (フルルピラウキシフェンベンジル):

生分解性 : 結果: 易分解性ではない。  
生分解: 14.6 %  
曝露時間: 29 d  
方法: OECD テスト ガイドライン 301B  
備考: 10-day Window: 不合格

水中での安定性 : 試験タイプ: 加水分解  
分解半減期 (DT50): 913 d (25 ° C) pH: 4

試験タイプ: 加水分解  
分解半減期 (DT50): 111 d (25 ° C) pH: 7

試験タイプ: 加水分解  
分解半減期 (DT50): 1.3 d (25 ° C) pH: 9

石英 (結晶) :

生分解性 : 備考: 生分解は適用不可。

生体蓄積性

成分:

ペノキススラム:

n-オクタノール/水分配係数 :  
(log 値)

log Pow: -0.602

方法: 測定値

備考: 生物濃縮の可能性は低い。(BCF < 100 または Log Pow < 3)

ベンジル=4-アミノ-3-クロロ-6- (4-クロロ-2-フルオロ-3-メトキシフェニル) -5-フルオロピリジン-2-カルボキシラート (フルルピラウキシフェンベンジル):

生体蓄積性 : 種: *Lepomis macrochirus* (ブルーギル)  
生物濃縮因子 (BCF) : 356  
曝露時間: 30 d

n-オクタノール/水分配係数 : log Pow: 5.5 (20 ° C)



## ウィードコア™ 200SD 粒剤

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日: 2023/02/24
1.1	2023/04/10	800080101120	初回作成日: 2023/02/24

---

(log 値) pH: 7  
備考: 生物濃縮の可能性は中程度。(BCF : 100-3000、Log Pow : 3-5)

## ベンゾピシクロン:

n-オクタノール/水分配係数 : 備考: 関連のあるデータは得られていない。  
(log 値)

## 石英 (結晶) :

n-オクタノール/水分配係数 : 備考: n - オクタノール・水分配係数は適用不可。  
(log 値)

## 土壌中の移動性

成分:

## ペノキススラム:

環境中の分布 : Koc: 73  
方法: 測定値  
備考: 土壌中移動性が大きい(Koc 50~150)。

ベンジル=4-アミノ-3-クロロ-6- (4-クロロ-2-フルオロ-3-メトキシフェニル) -5-フルオロピリジン-2-カルボキシラート(フロルピラウキシフェンベンジル):

環境中の分布 : Koc: 15305 - 33500  
備考: 土壌中移動性は比較的小さいと考えられる。(Koc > 5000)

## ベンゾピシクロン:

環境中の分布 : 備考: 関連のあるデータは得られていない。

## 石英 (結晶) :

環境中の分布 : 備考: 関連のあるデータは得られていない。

## オゾン層への有害性

成分:

## ペノキススラム:

オゾン層破壊係数 : 備考: この物質は、オゾン層を破壊する物質に関するモントリオール議定書に含まれていない。

ベンジル=4-アミノ-3-クロロ-6- (4-クロロ-2-フルオロ-3-メトキシフェニル) -5-フルオロピリジン-2-カルボキシラート(フロルピラウキシフェンベンジル):

オゾン層破壊係数 : 備考: この物質は、オゾン層を破壊する物質に関するモントリオール議定書に含まれていない。

## ウィードコア™ 200SD 粒剤

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日: 2023/02/24
1.1	2023/04/10	800080101120	初回作成日: 2023/02/24

---

**ベンゾピシクロン:**

オゾン層破壊係数 : 備考: この物質は、オゾン層を破壊する物質に関するモントリオール議定書に含まれていない。

**石英 (結晶) :**

オゾン層破壊係数 : 備考: この物質は、オゾン層を破壊する物質に関するモントリオール議定書に含まれていない。

**他の有害影響****成分:****ペノキススラム:**

PBT および vPvB の評価結果 : この物質は、難分解性・生体蓄積性・毒性 (PBT) があるとは考えられていない。この物質は、極難分解性・極生体蓄積性 (vPvB) があるとは考えられていない。

**ベンジル=4-アミノ-3-クロロ-6-(4-クロロ-2-フルオロ-3-メトキシフェニル)-5-フルオロピリジン-2-カルボキシラート(フルルピラウキシフェンベンジル):**

PBT および vPvB の評価結果 : 当物質は、残留性、生物濃縮性、毒性 (PBT) であるとは考えられていない。当物質は、極めて高い残留性および極めて高い生物蓄積性 (vPvB) であるとは見なされない。

**ベンゾピシクロン:**

PBT および vPvB の評価結果 : この物質の難分解性・生体蓄積性・毒性 (PBT) は評価されていない。

**石英 (結晶) :**

PBT および vPvB の評価結果 : この物質の難分解性・生体蓄積性・毒性 (PBT) は評価されていない。

---

**13. 廃棄上の注意****廃棄方法**

残余廃棄物 : 廃棄物や容器の廃棄が製品ラベルの指示通りに行えない場合は、関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。  
以下の情報は購入時の状態のときのみ適用される。使用後或いは汚染された場合、特性や記載事項が適合しない可能性

## ウィードコア™ 200SD 粒剤

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日: 2023/02/24
1.1	2023/04/10	800080101120	初回作成日: 2023/02/24

がある。適切な法律に則ってきちんとした廃棄物の識別と廃棄方法を決める。生じた物質の毒性や物理的性質を決定するのは廃棄物排出者の責任である。  
内容物や容器を廃棄する場合は、国／都道府県／市町村の規則に従って廃棄する。

## 14. 輸送上の注意

## 国際規制

## 陸上輸送 (UNRTDG)

国連番号 (UN number)	: UN 3077
国連輸送名 (Proper shipping name)	: ENVIRONMENTALLY HAZARDOUS SUBSTANCE, SOLID, N. O. S. (Florpyrauxifen-benzyl, PENOX SULAM)
国連分類 (Class)	: 9
容器等級 (Packing group)	: III
ラベル (Labels)	: 9

## 航空輸送 (IATA-DGR)

UN/ID 番号 (UN/ID number)	: UN 3077
国連輸送名 (Proper shipping name)	: Environmentally hazardous substance, solid, n. o. s. (Florpyrauxifen-benzyl, PENOX SULAM)
国連分類 (Class)	: 9
容器等級 (Packing group)	: III
ラベル (Labels)	: Miscellaneous
梱包指示 (貨物機) (Packing instruction (cargo aircraft))	: 956
梱包指示 (旅客機) (Packing instruction (passenger aircraft))	: 956

## 海上輸送 (IMDG-Code)

国連番号 (UN number)	: UN 3077
国連輸送名 (Proper shipping name)	: ENVIRONMENTALLY HAZARDOUS SUBSTANCE, SOLID, N. O. S. (Florpyrauxifen-benzyl, PENOX SULAM)
国連分類 (Class)	: 9
容器等級 (Packing group)	: III
ラベル (Labels)	: 9
EmS コード (EmS Code)	: F-A, S-F
海洋汚染物質 (該当・非該当) (Marine pollutant)	: 該当
備考	: Stowage category A

MARPOL 73/78 附属書 II 及び IBC コードによるばら積み輸送される液体物質 (該当・非該当) 供給された状態の製品には非該当。

## ウィードコア™ 200SD 粒剤

版番号 改訂日: 整理番号: 前回改訂日: 2023/02/24  
1.1 2023/04/10 800080101120 初回作成日: 2023/02/24

## 国内規制

国の特定の法規制は、項目 15 を参照する。

## 詳細情報

国連番号 3077 及び 3082 に割り当てられた海洋汚染物質は、液体の場合には単一もしくは内装容器あたりの正味容量が 5L 以下、固体の場合には単一もしくは内装容器あたりの正味質量が 5kg 以下の単一もしくは組合せ容器において、IMDG コードセクション 2.10.2.7、IATA 特別規定 A197 および ADR/RID 特別規定 375 に規定されるように、非危険物として輸送することができる。

## 特別の安全対策

ここに提供されている輸送分類は、情報の目的だけのために、本安全データシートの中で解説されるように開梱された材料の特性のみに基づいています。輸送分類は、交通手段、パッケージサイズと地域や地方の規則の変更により、変更される可能性があります。

## 15. 適用法令

## 関連法規

## 労働安全衛生法

## 名称等を通知すべき危険物及び有害物

法第 57 条の 2 (施行令別表第 9)

化学名	番号	含有量 (%)
結晶質シリカ	165 の 2	>=27 - <32

## 名称等を表示すべき危険物及び有害物

法第 57 条 (施行令第 18 条)

化学名	番号
結晶質シリカ	165 の 2

## 毒物及び劇物取締法

非該当

## 化学物質排出把握管理促進法

2023 年 3 月 31 日まで

非該当

2023 年 4 月 1 日から

## 第一種指定化学物質

化学名	管理番号	含有量 (%)
3- (2- クロロ- 4- メシルベンゾイル) - 4- フェニルスルファニルピシクロ [3. 2. 1] オクター 3- エン- 2	621	10

## ウィードコア™ 200SD 粒剤

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日: 2023/02/24
1.1	2023/04/10	800080101120	初回作成日: 2023/02/24

- オン

## 農薬取締法

## 16. その他の情報

日付フォーマット : 年/月/日

## その他の略語の全文

ACGIH : 米国。 ACGIH 限界閾値 (TLV)  
日本産業衛生学会 (許容濃度) : 日本産業衛生学会 許容濃度等の勧告 -I. 化学物質の許容濃度度)  
ACGIH / TWA : 8 時間、時間加重平均  
日本産業衛生学会 (許容濃度) / OEL-C : 最大許容濃度

AIIC - オーストラリアの工業化学品インベントリ; ANTT - ブラジル国家輸送機関; ASTM - 米国材料試験協会; bw - 体重; CMR - 発ガン性、変異原性、生殖毒性があるとされる物質; DIN - ドイツ規格協会基準; DSL - 国内物質リスト (カナダ); ECx - 任意の X%の反応を及ぼすと考えられる濃度; ELx - 任意の X%の反応を及ぼすと考えられる負荷割合; EmS - 緊急時のスケジュール; ENCS - 化審法の既存化学物質リスト; ErCx - 任意の X%の反応を及ぼすと考えられる成長率; ERG - 緊急対応の手引き; GHS - 世界調和システム; GLP - 試験実施規範; IARC - 国際がん研究機関; IATA - 国際航空運送協会; IBC - 危険化学品のばら積運送のための船舶の構造及び設備に関する国際規則; IC50 - 50%阻害濃度; ICAO - 国際民間航空機関; IECSC - 中国現有化学物質名録; IMDG - 国際海上危険物規程; IMO - 国際海事機関; ISHL - 労働安全衛生法 (日本); ISO - 国際標準化機構; KECI - 韓国既存化学物質名録; LC50 - 50%致死濃度; LD50 - 50%致死量 (半数致死量); MARPOL - 船舶による汚染の防止のための国際条約; n. o. s. - 他に品名が明示されているものを除く; Nch - チリ規則; NO(A)EC - 無有害性影響濃度; NO(A)EL - 無有害性影響レベル; NOELR - 無有害性影響負荷割合; NOM - メキシコ公式規則; NTP - 米国国家毒性プログラム; NZIoC - ニュージーランド化学物質台帳; OECD - 経済協力開発機構; OPPTS - 化学物質安全性・公害防止局; PBT - 難分解性・生体蓄積性・有毒性(物質); PICCS - フィリピン化学物質インベントリ; (Q) SAR - (定量的) 構造活性相関; REACH - 化学物質の登録、評価、認可および登録 (REACH) に関する規則 (EC) No 1907/2006; SADT - 自己加速分解温度; SDS - 安全データシート; TECI - タイに既存の化学物質のインベントリ; TCSI - 台湾化学物質インベントリ; TDG - 危険物輸送; TSCA - 有害物質規制法(米国); UN - 国連; UNRTDG - 国際連合危険物輸送勧告; vPvB - 非常に難分解及び非常に高蓄積性; WHMIS - 作業場危険有害性物質情報システム

記載内容は、現時点で入手できる資料、情報にもとづき、当該製品の安全な取り扱い、使用、処理、保管、輸送、廃棄、漏洩時の処理等のために作成されたものですが、記載されている情報はいかなる保証をするものではなく、品質を特定するものでもありません。また、この SDS のデータはここで指定された物質についてのみのものであり、指定されていない工程での使用や、指定されていない材料と組み合わせた使用に関しては有効ではありません。

JP / JA